

思い出を閉じ込めて

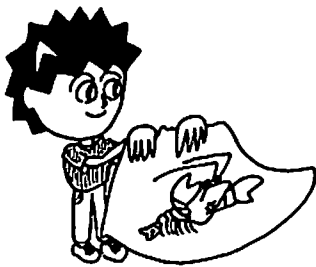
ふれあい給食会！

札幌市立幌南小学校 笹 澄子



2年生の3学期。進級を目の前にして、一年間の出来事が話題にされます。そんな時期をとらえて、「2年生の宝物をつくろう」と呼び掛けます。宝物とは、1番の思い出であるという意味と、出来上がったものが自分の宝物になるという意味を表しています。世界にたった一つしかない自分だけの給食ナプキンのことです。

- ◆作品や日記をひもとき、この1年間の出来事をふり返る取材期間を設けます。
- ◆題材が決まったら、それを絵で表し、ナプキンの図案とします。
- ◆白い布をほぼ正方形に裁ち、染色用クレヨンでグループに1セット程度、用意しておきます。



- ◆染色用クレヨンで中心に大きく絵を描き、新聞紙に挟んでアイロンをかけます。
- ◆縁の始末はお母さんをお願いします。

クレヨンと同じように扱うことができ、簡単に出来上がります。地色は煮染めすることもできます。絵は染める前でも染めた後でも描くことができます。私は、台風で一度に葉が落ちた校木である神樹の葉を乾燥させておいて地色に染めました。

出来上がったナプキンを持って自由に席を選び、給食会をしてみましょう。あちらこちらで懐かしい話が飛び交います。また、これをきっかけに1年生では、入学前は…とふり返る活動に入ることができます。